

子育て支援の保育現場での取り組み

岩国市保育士・自治労山口県本部
普^ふ喜^き 美智子

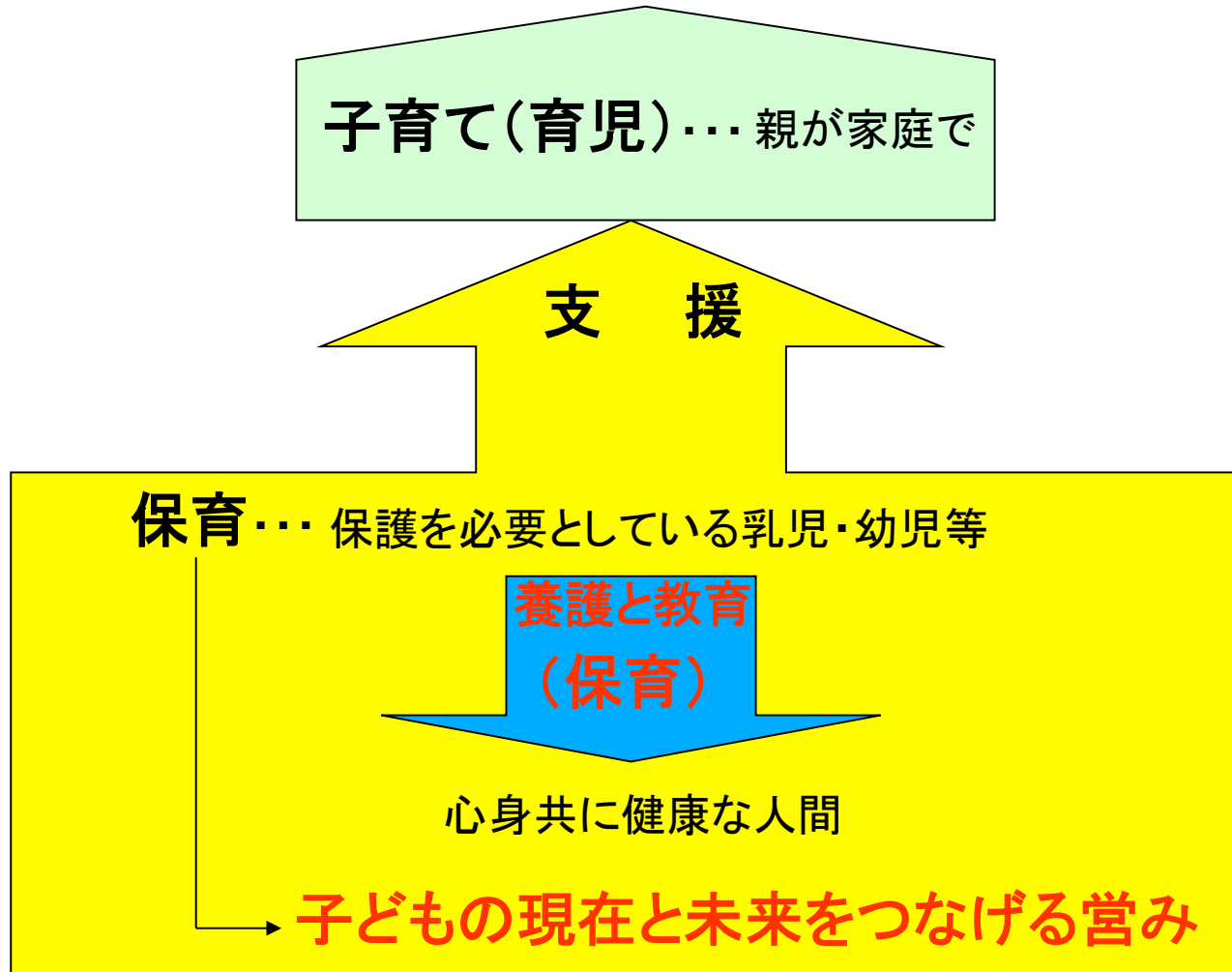
1 はじめに



2 子育てを支援する施設

	保育所	幼稚園
管轄	厚生労働省	文部科学省
目的	保育に欠けるその乳児又は幼児を保育すること…生活	幼児を保育し、適当な環境を与えてその心身の発達を助長すること…教育
対象	0歳から小学校就学の始期まで	満3歳から小学校就学の始期まで
一日の保育・教育時間	8時間	4時間

3 子育てと保育



4 保育所の役割(1)

(1) 入所している子どもの保育

① 養護的側面

- ア 生命の保持・・・基本的な生活習慣
- イ 情緒の安定・・・安心・安全

自律、主体性
自己肯定感

② 教育的側面

- ア 健康・・・健康な生活
- イ 人間関係・・・自他への慈愛
- ウ 環境・・・豊かな心情
- エ 言語・・・豊かな言語感覚
- オ 表現・・・豊かな創造性

健やかな成長
豊かな発達

現在を最も良く生き、
望ましい未来をつくり
出す力の基礎を培う

5 保育所の役割(2)

(2) 入所している子どもの保護者への支援

- ① 日々のコミュニケーション・・・ 連絡ノート、送迎時の対話、園内の掲示など
- ② 保護者が参加する行事 …… 親子遠足、運動会など
- ③ 多様な保育サービス …… 早朝・延長・夜間・休日保育、病児・病後児保育

(3) 地域における子育て支援

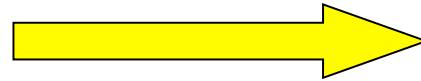
- ① 地域の子育ての拠点 …… 保育所機能の解放、相談や援助、交流の場の提供、情報の提供など
 - ② 一時保育 …… 通常は家庭で育児をされている幼児を一時的に保育
 - ③ その他 …… こんにちは赤ちゃん事業、地域の人材活用、小・中学校、高校の保育体験受け入れなど
-

6 幼児の発達特性(育児・保育の力)



新生児

身長 約50cm
体重 約3kg



六歳児

身長 約120cm
体重 約20kg

泣く、おっぱいをすう
排泄するなど

6年間

歩く、走る、泳ぐ、話す、ピアノ
を弾く、簡単な読み書き

育児・保育

基本的な生活習慣の獲得など
(食事、睡眠、排泄、清潔着脱、安全など)

手厚い保護で生命を維持
依存性

自立性、安心、自信
自己肯定感



何でもみんなで分け合うこと。

ずるをしないこと。

人をぶたないこと。

使ったものはかならずもとのところに戻すこと。

ちらかしたら自分で後片付けをすること。

人のものに手を出さないこと。

誰かを傷つけたら、ごめんなさい、と言うこと。

食事の前には手を洗うこと。

トイレに行ったらちゃんと水を流すこと。（抜粋）

7 子どもたちが危ない

- (1) 少子化・・・ 2005年 109万人、 2030年 70万人、 2055年 45.7万人
 - ① 兄弟(姉妹)間で培われる人間性の欠如
 - ② 周囲の大人からの溺愛

 - (2) 生活環境の変化・・・情報機器の普及など
 - ① 体力や運動機能の低下
 - ② 人とかかわる経験の不足
 - ③ 生活体験・自然体験の不足

 - (3) 地域・家庭の養育力低下・・・少子化、核家族化の進展
 - ① 乳幼児の育児においての不安や孤立感をかかえる保護者の増加
 - ② 被虐待児の増加
-

8 保育(所)の課題

(1) 保育ニーズの多様化・・・働く女性の増加など

① 低年齢児童の入所希望増加

・(0歳児) H19年4月 84,297人 → H20年4月 88,189人)

② 早朝保育や延長保育、休日保育、途中入所、一時保育

③ 病児、病後児保育

④ 発達障害児への対応

多忙

高度な保育技術

※ 3歳児20人に一人

(2) 地域間、保育所間での格差の拡大

① 待機児童の増加(H21年10月 46,058人・・・平成19年より10,000人増)

② 保育所定員の増加

③ 定員割れ

(3) 保育士の不足と非正規雇用者の増加

(4) 財源委譲と保育所運営費の一般財源化

9 保育士の現状

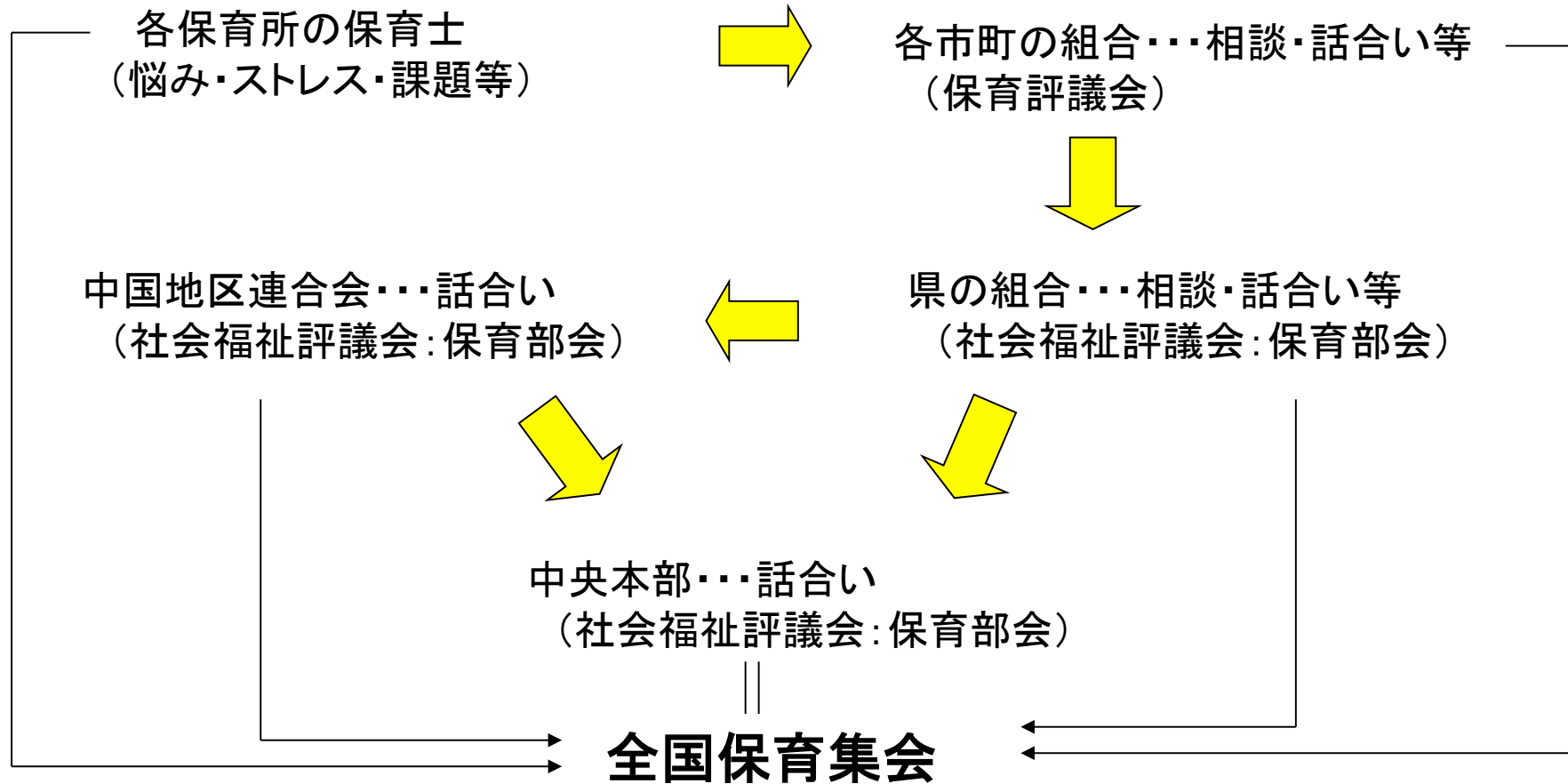
(1) 保育士の労働環境

- ① 体力勝負・・・大きな声、走り回る、抱っこにおんぶ
- ② 時間的制約・・・保育、行事の準備、保護者対応など
- ③ 非正規職員の増加と正規職員の減少
 - ・責任のある仕事は正規職員に集中
 - ・連動して非正規職員の負担増

(2) 保育士の待遇

- ① 代替保育士の不足
 - ・休暇が取りにくい(年休20日のほとんどを未消化)
 - ② 低賃金
 - ・初任給ベースは民間企業より低い
 - ・臨時・嘱託・パート保育士の賃金は時給800円程度
-

10 自治労の保育運動(山口県)

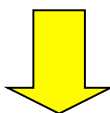


11 質の高い保育を目指して

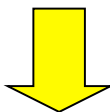
- (1) 正規保育士の配置数確保
- (2) 臨時保育士の処遇改善
- (3) 緊急対応の代替え保育士の確保
- (4) 保育所設置基準の改善

一人の力ではかわらない

数の力、組織(自治労)の力



保育士の質の向上



将来を担う地域(日本)の宝、子どもたちの幸せのために

12 おわりに

幼児期は根を育てる時期

- ※ 「根」は地中に静かに張っていく。外からは見えない。
- ※ それぞれの発達の時期に必要な経験や学習を見逃すことなく用意しなければならない
- ※ 人間はオオカミさえなりうる

○ 小中高校での暴力行為の増加

【加害少年の特質】

- ① 感情をコントロールする力の低下。
- ② 希薄な規範意識。
- ③ 言葉でのコミュニケーション力の不足



親の子育て能力の低下
愛され経験の欠如



- ※ 過去に虐待、暴行、両親の不仲、離婚、育児放棄、いじめ、中傷などの被害を受けている例が極めて多い

ご静聴ありがとうございました
